

第56期 株主通信

2024年4月1日～2025年3月31日

p.01 トップメッセージ

高見澤 和夫

p.02 主要製品の概況

p.04 トピックス

TOPICS
1

情報セキュリティマネジメントシステム
国際規格「ISO27001」を取得しました。

TOPICS
2

京急電鉄様 羽田空港2駅でインバウンド
向け自動券売機をご採用いただきました。

TOPICS
3

東海大学様と
「電子パーサー」を共同開発しました。

p.05

決算データ

p.06

会社の概要

- 株式の状況
- 役員の状況



世の中に
必要不可欠な
会社を目指して

代表取締役社長

高見澤和夫

平素は格別のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループの第56期（2024年4月1日から2025年3月31日まで）営業の概況及び決算の諸事項につき、次のとおりご報告申し上げます。

当連結会計年度における我が国経済は、雇用・所得環境が改善し、引き続き緩やかな回復傾向にあるものの、物価の上昇が続いていることに加え、欧米における高い金利水準の継続や中国経済の先行き懸念、中東地域をめぐる情勢など、依然として景気を下押しするリスクが存在しており、引き続き不透明な状況が続きました。

この様な経済環境のもと、当社グループは、交通システム機器、メカトロ機器、特機システム機器の専門メーカーとして、鋭意営業活動の展開に注力してまいりました。

その結果、主に交通システム機器部門の自動券売機をはじめとする出改札機器、また、特機システム機器部門の防災計測システムにおいて、それぞれ複数の新規・更新案件等を受注することができ、売上高が前年同期と比べて増加いたしました。

また、メカトロ機器部門におきましては、国内向け紙幣処理装置関連等が堅調に推移いたしました。これにより、売上高は153億9千1百万円（前連結会計年度比17.9%増）となりました。

また、損益面につきましては、人材の維持・確保を目的として人件費を増額したこと等により経費が増加しましたが、売上高の増加に加え、ものづくり工程を見直し原価の低減に取り組んだことなどにより、営業利益は13億7千4百万円（前連結会計年度比39.7%増）、経常利益は13億7百万円（同39.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益10億1百万円（同52.8%増）となりました。

当社は、サステナビリティ推進室の活動をはじめとして、持続可能な社会の実現と長期的な企業の成長を目指し、ESGの観点からさまざまな取り組みを行ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2025年6月



交通システム機器

売上高

77億8千8百万円

前期比27.7%

交通システム機器部門では、乗車券自動券売機・ICカードチャージ機等の「出改札関連機器」、扉が横方向にスライドして開閉するタイプの可動式ホームドアや、3本のバーが上下方向に動いて開閉するタイプの昇降バー式ホーム柵等の「ホームドアシステム」を開発・製造・販売しております。

当期におきましては、自動券売機等をはじめとする出改札関連機器とホームドアシステムの売上が増加したことなどにより、売上高は77億8千8百万円となり、前期と比べ27.7%の増加となりました。



キャッシュレス対応 自動券売機
(阿武隈急行(株)様 角田駅)



メカトロ機器

売上高

25億9千8百万円

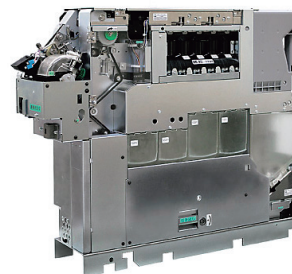
前期比9.7%

メカトロ機器部門では、当社独自のコア技術であるT (Ticket:チケット)、B (Bill:紙幣)、C (Coin:硬貨)、C (Card:カード) 処理技術を応用したユニット製品を開発・製造し、金融機関向けATMや駐車場の精算機等を製造する装置メーカーに販売しております。

当期におきましては、主に国内向け紙幣処理装置関連等の売上が堅調に推移したことにより、売上高は25億9千8百万円となり、前期と比べ9.7%の増加となりました。



ホームドア
(小田急電鉄(株)様 中央林間駅)



国内向け硬貨処理ユニット



特機システム機器

売上高

27億2千万円

前期比 10.2%

特機システム機器部門では、セキュリティシステム・防災計測システム・パーキングシステムの開発・製造・販売をしております。

セキュリティシステムでは、オフィスや工場などのセキュリティ管理を目的に設置されるセキュリティゲートを主力製品としています。また、レジャー施設などで、入場券発売機などの機器とセキュリティゲートを組み合わせて来場者管理を行う「入退場管理システム」も扱っております。

防災計測システムでは、特定の場所に備え付けて震度を計測する「設置型地震計」、レスキュー隊

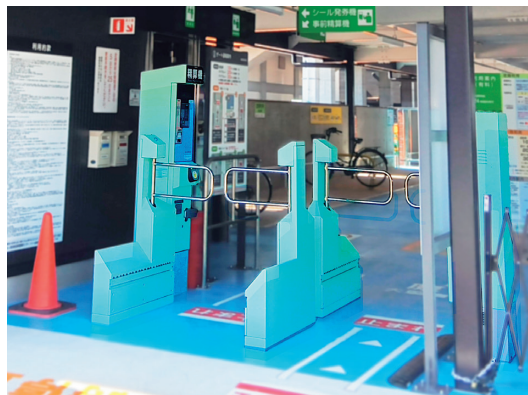
が地震被災地に持ち込み、余震による二次被害を防止する「可搬型早期警報地震計」、列車やエレベーターなどの運行システムと連携し、大きな揺れが到達する前に機器の動きを停止させ、被害の軽減に役立つ「早期地震警報システム」を扱っております。

パーキングシステムでは、駐輪場管理システムに関する製品として、電磁式ラックや自動精算機等を扱っております。また、グループ会社である(株)高見沢サービスにおきましては、駐輪場運営管理業務を行っております。

当期におきましては、セキュリティシステム、防災計測システム及びパーキングシステム、全ての売上が増加したことにより、売上高は27億2千万円となり、前期と比べ10.2%の増加となりました。



入退場管理システム
(アクアブルー多摩様)



駐輪場管理システム
(自転車駐輪場整備センター様 常滑駅駐輪場)



01 情報セキュリティマネジメントシステム 国際規格「ISO27001」を取得しました。

当社は、2025年3月18日付で、情報セキュリティマネジメントシステムの国際規格である「ISO27001」の認証を取得いたしました。これを機に従業員の情報セキュリティに対する意識を高め、全てのステークホルダーの方から安心してお取引いただける環境を構築してまいります。



02 京急電鉄様 羽田空港2駅でインバウンド 向け自動券売機をご採用いただきました。

当社は、京浜急行電鉄(株)様 羽田空港第1・第2ターミナル駅及び羽田空港第3ターミナル駅において、8言語に対応し、32インチの大型ディスプレイで駅名・駅番号・路線図・観光スポットから目的地を検索できるインバウンド向けキャッシュレス対応自動券売機をご採用いただき、2025年3月より運用を開始いたしました。

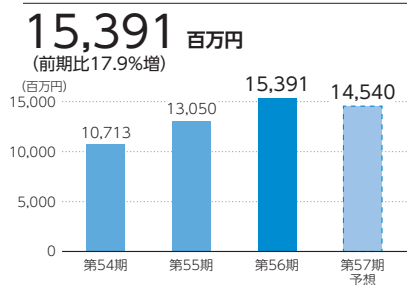
03 東海大学様と「電子ペーサー」を共同開発 しました。

当社は、陸上トラック上の発光機器でランナーのペースを誘導する「電子ペーサー」を東海大学様と共同開発し、2025年3月から同学湘南キャンパス陸上競技場に常設されました。国内メーカーによる電子ペーサーの開発及び陸上競技場への常設は国内初となります。

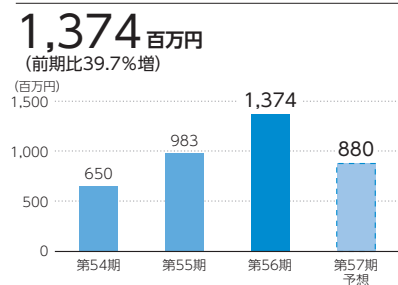


連結財務ハイライト

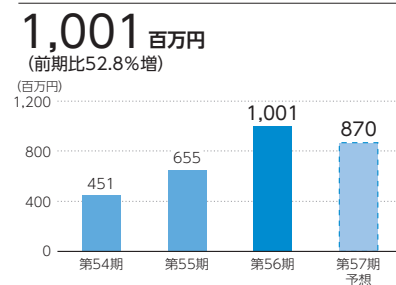
売上高



営業利益



親会社株主に帰属する 当期純利益



第57期予想の ポイント

新紙幣発行に伴う機器の改造案件が一巡したこと、また、交通及び特機機器部門の大型案件の一部が終了したこと等により売上高・利益ともに減少する見込みです。今後見込まれる人件費や部材高騰等の懸念要因も吸収しつつ、更なる成長に向けて取り組んでまいります。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期 第55期	当期 第56期
流動資産	12,845	11,853
固定資産	4,804	5,069
資産合計	17,649	16,922
流動負債	8,569	6,567
固定負債	4,006	4,317
負債合計	12,576	10,884
株主資本	4,573	5,499
その他の包括利益累計額	500	539
純資産合計	5,073	6,038
負債純資産合計	17,649	16,922

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前期 第55期	当期 第56期
売上高	13,050	15,391
売上総利益	3,685	4,344
営業利益	983	1,374
経常利益	938	1,307
親会社株主に帰属する当期純利益	655	1,001

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前期 第55期	当期 第56期
営業活動によるキャッシュ・フロー	348	935
投資活動によるキャッシュ・フロー	△188	△475
財務活動によるキャッシュ・フロー	169	△568
現金及び現金同等物の増減額	328	△108
現金及び現金同等物の期首残高	2,609	2,938
現金及び現金同等物の期末残高	2,938	2,829

※詳細につきましては、当社ホームページをご覧ください。<https://www.tacy.co.jp/>

会社の概要

会社の概要 (2025年3月31日現在)

商号 株式会社高見沢サイバネティックス
英文商号 TAKAMISAWA CYBERNETICS COMPANY,LTD.
設立 1969年10月1日
資本金 700,700,000円
従業員 403名 (単体)、556名 (連結)

主な事業内容

区分	主要製品
交通システム機器	自動券売機、定期券自動発売機、自動精算機、ICカード入金機、ICカード発売機 (駅券用)、券印刷発行機、ホストシステム、ホームドアシステム 他
メカトロ機器	硬貨処理関連機器、紙幣処理関連機器、カード処理関連機器、発券処理関連機器、OEM製品開発 他
特機システム機器	パーキングシステム、セキュリティシステム、入退場管理システム、防災計測システム、コインゲート、カード発売機、オープン温度試験槽、各種計測器 他

役員の状況 (2025年6月26日現在)

代表取締役社長	社長執行役員	高見澤 和 夫
専務取締役	専務執行役員	竹田 一 雄
取締役	常務執行役員	高橋 利 明
取締役	常務執行役員	下里 雄 二
取締役	常務執行役員	藤 曲 宏 弥
取締役	執行役員	上原 良 房
取締役	執行役員	土屋 浩 治
取締役	執行役員	荒井 元
社外取締役		高橋 康 宏 ※
社外取締役		野口 真 一 ※
常勤監査役		田中 寛 夫
常勤監査役		篠崎 倫 直 ※
社外監査役		西 山 嘉 彦 ※
執行役員		白石 石 健 治
執行役員		町田 康 夫
執行役員		尾崎 一 成
執行役員		須賀井 明 浩
執行役員		酒 井 敏 行

※は独立役員

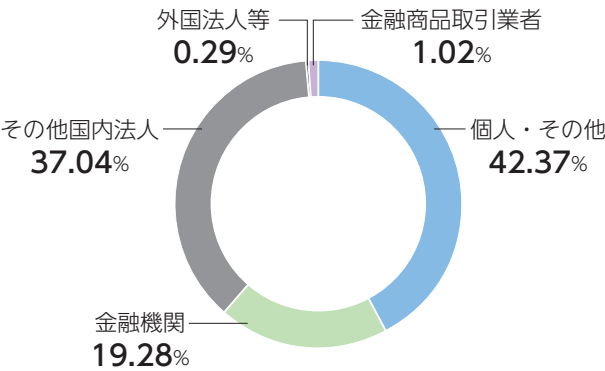
株式の状況 (2025年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 14,800,000株
- 発行済株式の総数 4,525,000株
(自己株式126,432株を含む)
- 株主数 2,929名
- 大株主 (上位10位)

株主名	持株数	持株比率
富士電機株式会社	618千株	14.06%
富士通株式会社	416	9.47
みずほ信託銀行株式会社退職給付 信託富士電機口 再信託受託者株式会社日本カストディ銀行	286	6.51
富士通フロンテック株式会社	250	5.68
高見沢サイバネティックス従業員持株会	208	4.75
高見澤和夫	195	4.44
株式会社みずほ銀行	175	3.98
株式会社三菱UFJ銀行	100	2.27
株式会社常陽銀行	100	2.27
レシップホールディングス株式会社	100	2.27
株式会社巴コーポレーション	100	2.27

- (注) 1. 「みずほ信託銀行株式会社退職給付信託富士電機口再信託受託者株式会社日本カストディ銀行」名義の株式286千株は富士電機株式会社が保有する当社株式を退職給付信託として信託設定したものであり、議決権については、富士電機株式会社が指図権を留保しております。
2. 当社は、自己株式を126,432株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
3. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

●所有者別株式分布状況



株主メモ

■事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
■定時株主総会	毎年6月下旬
■基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当を行う場合 毎年9月30日
■株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
■郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)
■公告方法	電子公告 当社は公告を下記ホームページに掲載 しております。 https://www.tacy.co.jp

お知らせ

株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

証券会社の口座をご利用の株主様は、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座をご利用でない株主様は、三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

なお、お手続きの方法やよくあるご質問は、「よくあるご質問 (FAQ)」サイトでご確認いただけます。

よくあるご質問 (FAQ)

https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal



未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ホームページのご案内

高見沢サイバネティックス

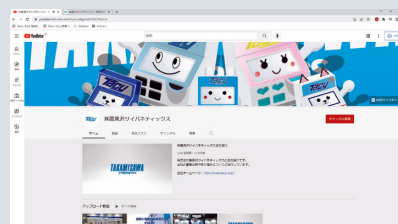
検索

高見沢グループの製品・サービス、最新ニュース、決算情報の詳細など、株主・投資家の皆様に役立つ情報をご覧いただけます。ぜひご利用ください。

トップページ <https://www.tacy.co.jp>



YouTubeチャンネル



株式会社 **高見沢サイバネティックス**

〒164-0011 東京都中野区中央2-48-5

TEL : 03-3227-3361 (代表)

UD
FONT



本冊子は環境保全のため植物性インキで印刷しています。